


導入セミナー：組織と知財（東京）

～イノベーションやビジネスが組織を超える時代に求められる知財業務を探究する～

実施日程	2018年11月17日（土）16:00~17:30
受講料	1,000円（税込・テキスト代込）
対象者	ビジネス環境、知財実務の変化、イノベーションに興味がある方 これからの知財実務の変化への対応力を育成したい方
概要 ねらい	<p>20世紀後半以降、情報処理技術（IT）分野を中心にした技術革新により経済社会は大きく変化しています。近年では、2012年のディープラーニングの登場をきっかけにビックバンを起こしたAIは専門家の予想を超えて進化しており、高度で専門的な知識を要する職業が5年後には、機械（AI）に代替される可能性もあるといわれています。</p> <p>弁理士業務がAIに代替される可能性については意見が分かれているものの、出願書類や中間書類のような書類作成業務はある程度はAIに代替されると考えられています。このような環境変化の中で、弁理士にもこれまでの事務所と企業という組織の壁、専門性を越えた知見、ビジネス環境の理解、大局的視点を持って知財戦略を立案し遂行する能力がいま以上に求められると考えられます。</p> <p>導入セミナーの後に実施される「組織と知財」（全3回）と題する研修（本講座）は、近い将来、弁理士に求められる“組織の壁”を超えたビジネス理解、大局的視点に立って知財業務を担う能力を育成することを目的とします。</p> <p>導入セミナーでは、</p> <ul style="list-style-type: none">・過去30年間、どのようなイノベーションが生じ、ビジネスや知的財産業務はどのように変化したか・イノベーションとは何か、イノベーションはどのように生じ、何をどのように変えるのか <p>を概説するとともに、本講座となる「組織と知財」の狙いや、本講座で何をどのように学ぶのかをご説明します。</p>
到達目標	20世紀後半以降、さまざまなイノベーションが生じて経済社会が大きく変化しており、知財業務も変革を求められていることを理解する
講師 略歴	<p>◆高橋 真木子氏 （金沢工業大学 イノベーションマネジメント研究科 教授）</p>  <p>東工大、東北大、（独）理化学研究所等の在籍約20年間に、国プロ、複数企業との共同研究開発のプロジェクトマネジメント、技術移転、研究推進支援に携わる。大学における研究推進支援の専門人材リサーチ・アドミニストレーターの必要性を広め、2014年RMAN-Jの設立に関わり副会長を務める。また産学連携活動を研究対象とし、NISTEP(文部科学省科学技術・学術政策研究所)、東京大学政策ビジョン研究センター客員研究員、中央教育審議会委員、産業構造審議会委員、JSTプログラムオーガナイザー等を兼務。専門分野 技術・知識移転など。</p>

<p>形式及び内容 (予定)</p>	<p>(形式) 講義と質疑応答 (内容)</p> <ol style="list-style-type: none">1. イノベーションと経済社会の変化2. 総括・日本版プロパテント政策3. 知財における“グローバル”4. 新興ビジネスと知財5. イノベーションとは何か6. 組織を超えるイノベーション、技術7. 本講座の紹介
------------------------	--